

令和8年2月2日
総務企画委員会協議会資料②
なばりの未来創造部危機管理室

名張市地域防災計画に対する意見照会結果の概要について

なばりの未来創造部
危機管理室

名張市防災会議委員等からの主な意見

意見照会（令和7年9月～11月）における名張市防災会議委員からの意見

意見元	概要
伊賀地域防災総合事務所	・誤記の修正・表記の適正化
津地方気象台	・素案策定後に発表された南海トラフ地震関連事項の更新に伴う修正 ・気象に係る避難情報用語の定義変更に伴う修正 ・誤記の修正、表記の適正化
有識者 みえ防災コーディネーター名張支部	・誤記の修正・表記の適正化

総務企画委員会協議会（令和7年8月開催）の際における意見

意見元	概要
総務企画委員会協議会	資料集に記載された南海トラフで想定される地震に係る記述を出典根拠が不明との理由で削除するのではなく、根拠を明確にした上で、同地震に係る記述を掲載した方が良い。

伊賀地域防災総合事務所からの意見と計画への反映の一例

頁・章節	素案	素案の修正案	理由
目次	<p>目 次</p> <p>第1章 総 則…………… 1</p> <p>第1節 計画の方針（共通）…………… 1</p> <p>第2節 防災関係機関の責務と業務の大綱（共通）・ 3</p> <p>第3節 市民の責務と事業所の役割…………… 13</p> <p>第4節 名張市の特質（共通）…………… 14</p> <p>第5節 過去の災害（共通）…………… 19</p>	<p>目 次</p> <p>第1章 総 則…………… 1</p> <p>第1節 計画の方針（共通）…………… 1</p> <p>第2節 防災関係機関の責務と業務の大綱（共通）・ 3</p> <p>第3節 市民の責務と事業所の役割…………… 14</p> <p>第4節 名張市の特質（共通）…………… 16</p> <p>第5節 過去の災害（共通）…………… 19</p>	誤記の修正 ページ番号の誤り
P 3 3 第2章 第1節	<p>2 児童生徒等に対する普及計画</p> <p>校内の防災整備、防災計画等の策定及び防災訓練の実施により、児童生徒等、教職員の安全確保を図る。災害の発生時に関する科学的知識の普及、災害予防、避難方法等災害時の防災知識を児童生徒等に理解させるため、学校等（小中学校・幼稚園・保育所（園））においては地域の実情に即した防災教育を行い、消防機関及び自主防災組織等と協力した防災訓練を実施するものとする。</p> <p>また、名張市防災センターの防災体験学習コーナーを活用した体験学習を実施するものとする。</p>	<p>児童生徒等に対する普及計画</p> <p>校内の防災整備、防災計画等の策定及び防災訓練の実施により、児童生徒等、教職員の安全確保を図る。災害の発生時に関する科学的知識の普及、災害予防、避難方法等災害時の防災知識を児童生徒等に理解させるため、学校等（小中学校・幼稚園・保育所（園））においては地域の実情に即した防災教育を行い、消防機関及び自主防災組織等と協力した防災訓練を実施する。</p> <p>また、名張市防災センターの防災体験学習コーナーを活用した体験学習を実施する。</p>	表記の適正化 三重県地域防災計画の記述トーンとの整合、表記の統一 「～ものとする。」 →「～する。」へ

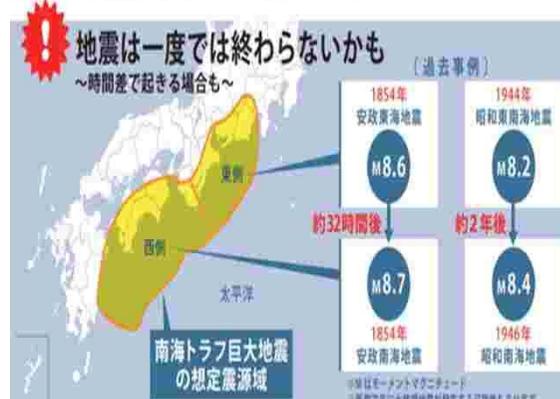
津地方気象台からの意見と計画への反映の一例

頁・章節	素案	素案の修正案	理由
P 2 0 第 1 章 第 5 節	2 東南海地震（1944年）東南海沖、 <u>M=8.0</u> 3 南海地震（1946年）南海道沖、 <u>M=8.1</u>	2 東南海地震（1944年）東南海沖、 <u>M=7.9</u> 3 南海地震（1946年）南海道沖、 <u>M=8.0</u>	誤記の修正 気象庁の公表資料との整合
P 1 0 8 第 3 章 第 6 節	(1) 特別警報、警報の種類と概要 大雨による重大な災害が発生するおそれが著しく大きいときに発表される。 大雨特別警報には、大雨特別警報（土砂災害）、大雨特別警報（浸水害）、大雨特別警報（土砂災害、浸水害）のように、特に警戒すべき事項が付記される。災害がすでに発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとる必要があることを示す警戒レベル5に相当する。	(1) 特別警報、警報の種類と概要 大雨が特に異常であるため重大な災害が発生するおそれが著しく <u>大きいと予想された</u> ときに発表される。 大雨特別警報には、大雨特別警報（土砂災害）、大雨特別警報（浸水害）、大雨特別警報（土砂災害、浸水害）のように、特に警戒すべき事項が <u>明記</u> される。災害が発生又は切迫している状況で、 <u>命の危険があり直ちに身の安全を確保する必要がある</u> ことを示す警戒レベル5に相当。	気象に係る避難情報用語の定義変更に伴う修正
P 2 3 2 第 5 章 第 1 節	 <p style="text-align: center;">南海トラフ地震防災対策推進地域の指定</p> <p>指定基準の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○震度6以上の地域 ○津波高3m以上で海岸堤防が低い地域 ○防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮 <p style="text-align: right;">推進地域の指定地域</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">(内閣府防災情報のページ)</p>	 <p style="text-align: center;">南海トラフ地震防災対策推進地域の指定</p> <p>指定基準の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○震度6弱以上の地域 ○津波高3m以上で海岸堤防が低い地域 ○防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮 <p style="text-align: right;">推進地域の指定地域</p>	素案策定後、発表された南海トラフ地震防災対策推進地域の更新に伴う修正

有識者（みえ防災コーディネーター名張支部）からの意見と計画への反映の一例

頁・章節	素案	素案の修正案	理由
P 3 2 第 2 章 第 1 節	<p>1 市民に対する普及計画 市民が防災について正しい知識と判断を持って行動できるよう、様々な媒体を通じて災害予防や応急措置等の知識の普及に努める。</p> <p>(1) 普及計画の内容</p> <p>ア 災害の知識</p> <p>(ア) 災害時の態様や危険性</p> <p>(イ) 各関係機関の防災体制及び災害時に担うべき役割</p> <p style="text-align: center;">《 中 略 》</p> <p>(セ) 避難生活に関する知識</p> <p>(ソ) 平時から住民が準備できる、応急手当、生活必需品の備蓄、家具の固定、感震ブレーカーの接地等による 出火防止、ブロック塀の倒壊防止等対策の内容</p>	<p>1 市民に対する普及計画 市民が防災について正しい知識と判断を持って行動できるよう、様々な媒体を通じて災害予防や応急措置等の知識の普及に努める。</p> <p>(1) 普及計画の内容</p> <p>ア 災害の知識</p> <p>(ア) 災害時の態様や危険性</p> <p>(イ) 各関係機関の防災体制及び災害時に担うべき役割</p> <p style="text-align: center;">《 中 略 》</p> <p>(セ) 避難生活に関する知識</p> <p>(ソ) 平時から住民が準備できる、応急手当、生活必需品の備蓄、家具の固定、<u>感震ブレーカーの設置</u>等による 出火防止、ブロック塀の倒壊防止等対策の内容</p>	誤記の修正
P 4 2 第 2 章 第 5 節	<p>第 5 節 事業所の防災活動の促進計画（共通）</p> <p>第 1 項 計画目標</p> <p>○防災計画や事業所の事業継続計画（BCP）の作成促進を図る。</p> <p>○各事業所における、顧客・従業員の安全確保等、防災対策の推進を図る。</p> <p style="text-align: center;">《 中 略 》</p> <p>第 2 項 実施責任</p> <p>危機管理室、産業部</p>	<p>第 5 節 事業所の防災活動の促進計画（共通）</p> <p>第 1 項 計画目標</p> <p>○防災計画や事業所の事業継続計画（BCP）の作成促進を図る。</p> <p>○各事業所における、顧客・従業員の安全確保等、防災対策の推進を図る。</p> <p style="text-align: center;">《 中 略 》</p> <p>第 2 項 実施責任</p> <p>危機管理室・産業部</p>	表記の適正化 他のページの表記要領との整合 「、」→「・」へ

総務企画運営委員会協議会（R7. 8）における意見の反映

章・頁	素案	素案の修正案	理由												
資料集 P 3 第 1 章	<p>南海トラフで発生が想定される地震の分類</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">大きい 広い</td> <td style="text-align: center;">全割れ</td> <td>南海トラフの想定震源域の広い範囲が破壊され、南海トラフ沿いの全ての地域で被害が生じている。(該当する過去事例：宝永地震)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">震源域 マグニチュード</td> <td style="text-align: center;">半割れ</td> <td>南海トラフの想定震源域のうち破壊されていない領域があり、南海トラフ沿いに、大きな被害が出ている地域とまだ被害が出ていない地域がある。(該当する過去事例：昭和東南海・南海地震) 世界の地震データによる統計的分析では、十数回に1回程度の頻度で隣接領域に大規模地震が発生。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">小さい</td> <td style="text-align: center;">一部割れ</td> <td>南海トラフの想定震源域のうち狭い領域のみが破壊され、被害が出ている地域は南海トラフ全体と比べれば、限られた範囲。 世界の地震データによる統計分析では、数百回に1回程度の頻度で隣接領域に大規模地震が発生。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">狭い</td> <td style="text-align: center;">局所割れ</td> <td>破壊はごく限られた領域のみであり、震源近傍においても被害はほとんどない。</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">「半割れケース、一部割れケースの評価基準について」</p>	大きい 広い	全割れ	南海トラフの想定震源域の広い範囲が破壊され、南海トラフ沿いの全ての地域で被害が生じている。(該当する過去事例：宝永地震)	震源域 マグニチュード	半割れ	南海トラフの想定震源域のうち破壊されていない領域があり、南海トラフ沿いに、大きな被害が出ている地域とまだ被害が出ていない地域がある。(該当する過去事例：昭和東南海・南海地震) 世界の地震データによる統計的分析では、十数回に1回程度の頻度で隣接領域に大規模地震が発生。	小さい	一部割れ	南海トラフの想定震源域のうち狭い領域のみが破壊され、被害が出ている地域は南海トラフ全体と比べれば、限られた範囲。 世界の地震データによる統計分析では、数百回に1回程度の頻度で隣接領域に大規模地震が発生。	狭い	局所割れ	破壊はごく限られた領域のみであり、震源近傍においても被害はほとんどない。	<p>過去の南海トラフ地震（地震は一度では終わらないかも）</p> <p>過去には、想定震源域のほぼ全域で同時に地震が発生したことがあるほか、東側半分の領域で大規模地震が発生し、時間差をもって残り西側半分の領域でも大規模地震が発生したこともあります。</p> <p>前回の南海トラフ地震は、昭和19年（1944年）に起きた昭和東南海地震と昭和21年（1946年）に起きた昭和南海地震で、この2つの地震は約2年の時間差をもって発生しました。なお、西側半分の領域で先に大規模地震が発生する可能性もあります。</p> <div style="text-align: center;">  <p>地震は一度では終わらないかも ～時間差で起きる場合も～</p> <p>（過去事例）</p> <p>1854年 安政東海地震 M8.6 約32時間後 1854年 安政南海地震 M8.7</p> <p>1944年 昭和東南海地震 M8.2 約2年後 1946年 昭和南海地震 M8.4</p> <p>南海トラフ巨大地震の想定震源域</p> <p>過去南海トラフ地震</p> </div> <p>出典：気象庁ホームページ 南海トラフ地震のメカニズム https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/nteq/nteq.html 南海トラフ地震について https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/nteq/index.html</p>	<p>出典根拠が不明であったため、左欄の表を削除しましたが、「必要な情報であるため、根拠を明確にした上で記載しておくことが望ましい。」というご意見を受け、同趣旨の内容を気象庁の公表資料から抜粋して掲載しました。</p>
大きい 広い	全割れ	南海トラフの想定震源域の広い範囲が破壊され、南海トラフ沿いの全ての地域で被害が生じている。(該当する過去事例：宝永地震)													
震源域 マグニチュード	半割れ	南海トラフの想定震源域のうち破壊されていない領域があり、南海トラフ沿いに、大きな被害が出ている地域とまだ被害が出ていない地域がある。(該当する過去事例：昭和東南海・南海地震) 世界の地震データによる統計的分析では、十数回に1回程度の頻度で隣接領域に大規模地震が発生。													
小さい	一部割れ	南海トラフの想定震源域のうち狭い領域のみが破壊され、被害が出ている地域は南海トラフ全体と比べれば、限られた範囲。 世界の地震データによる統計分析では、数百回に1回程度の頻度で隣接領域に大規模地震が発生。													
狭い	局所割れ	破壊はごく限られた領域のみであり、震源近傍においても被害はほとんどない。													

※上記の表を出典根拠不明のため削除していました。